

# 平成 27 年度決算を認定

総務 建設

9月定例会では、平成27年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）10件が上程されました。総務委員会と建設経済厚生委員会に分かれて3日間審議を行い、認定しています。

一般会計の決算額は、歳入209億2,618万4,433円、歳出208億1,598万5,414円、翌年度への繰り越し2,605万6,000円を差し引いた実質収支額は8,414万3,019円となっています。

各委員会において、執行者に対し以下のとおり意見・要望が述べられています。

## 一般会計

### 不納欠損

**問** 不納欠損（法に基づいて税金の徴収を放棄すること）の傾向について。

**答** 固定資産税の不納欠損が増加しており、差し押さえをするにも、該当資産に抵当権が設定されているため、他の財産を調査する間に時効を迎えるケースが全体の約5割と多くなっています。そのため、納税相談を行い滞納者との接点を維持するなど、まずは現年分の滞納をできる限り抑制する方向で努めています。

○不納欠損の減少に引き続き努めていただきたい。



### ふるさと納税

**問** ふるさと納税の状況について。

**答** 住民税控除が従来の2倍になったことなどから寄附額が大幅に伸びている一方、その実態は、応援する自治体への寄附というより、お礼の品目当ての傾向が強くなってきています。総務省から換金性・資産性の高い返礼品を控えるようにとの通知もあり、加西市では一定の金額以上は返礼を行わないようにしています。

### 観光

**問** 滞在型観光バスツアー助成金について。

**答** 観光ルートに加西を組み込み、お金を落としていただく動機づけとして設定しています。15名以上でチャーターバスを利用し、加西市の観光地を3カ所以上訪れた場合に、バス借上げ費用の2分の1を助成し、毎年好評をいただいています。

○他市から訪れる方にも分かりやすいパンフレットの充実に努めていただきたい。



### 市街地整備

○ホテル誘致が決定した今、立地のよい旧市役所庁舎の活用を早急に検討していただきたい。

○補助金や様々な支援策を用いて、空き店舗を活用するなど、中心市街地の活性化を図っていただきたい。

### ふるさと創造会議

○各地区のふるさと創造会議が一同に会し、情報交換や研究のできる場をつくっていただきたい。

○交付金は、大きい校区と小さい校区で一律とするのではなく、校区の人口に応じて交付する体制をとり、公平に運用していただきたい。

### 地域振興

○共通商品券は販売方法を工夫し、ある程度公平に市民へ還元されるようにしていただきたい。

○合同就職面接会での企業と求職者のミスマッチについては、改善策を検討していただきたい。



### 運動ポイント

**問** 最初に立てた目標を達成した人が約4割と低かった原因について。

**答** 途中で諦められた方のほか、記念品の魅力不足や交換時期の限定、記録帳の記入が負担であったことなどが考えられます。

○ポイント付与対象の拡大、記念品の工夫、参加しやすい方法の検討、大々的なキャンペーンなど、参加者の増加に努めていただきたい。



### 健康・福祉

**問** 手話通訳者の養成について。

**答** 加西市では手話奉仕員養成研修講座を開講しています。また、修了後のステップとして手話通訳者養成講座を小野市・三木市と合同で実施していますが、公的資格である手話通訳士を養成するレベルではありません。

○さまざまな方策を実施し、手話通訳者をふやしていただきたい。

○生活保護の審査は、収入等の綿密な調査の上で行い、認定後も受給者の状況を把握するよう努めていただきたい。

○認知症カフェの周知と理解の浸透に努め、地域の方が気軽に訪れ、交流できる場になるよう支援していただきたい。